

DSLシリーズ第2回

# SQL Server Integration Services (SSIS)を活用しよう

by 中博俊

## SSISとは？

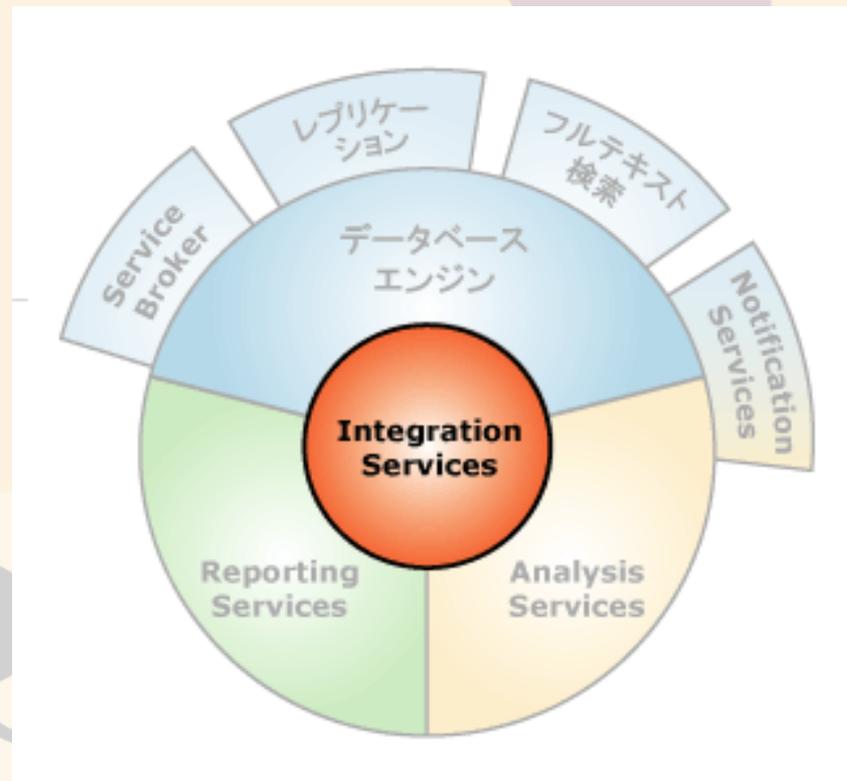
- SQL Server 2005からDTSと呼ばれていたものが、呼称変更された。
- DTSとはData Transformation Service(データ変換サービス)
- 決してサラウンドではありません。



とにかく簡単な例



- SSISはSQL Server 2005の中でも中心的な、そんな役割です。(本当かな?)
- 右の図はBOL(Books Online)の機能別の紹介図



- SQL Serverの機能なんですが、Visual Studioで開発します。
- さてSQL Serverに配置 (Deploy)するにはどうするのでしょうか。

SQLの実行とエージェントとの連携



- エージェントで実行できるまででした。
  -
- ちょっと手順が多いですが、まあ気にしない
- エージェントに有機的に利用できるということは、バッチ処理なんかに比べて非常に向いているということです。

- SQLしか実行しないのであれば、普通にSQL Serverで実行可能ですよね？
- 私が思うSSISのすごいところ.....→

その1 VSA



## VSA

- SSISにはVSA(Visual Studio for Applications)というのが搭載されています。
- VBLしか使えません。(^^)
- 参照設定できるので何でもできます。
- 変換元になれるのでExcelからのカスタム吸い出しなどが可能です。

→もう一点

その2 並列実行



- 完全に並列実行が簡単にできます。
- それなりに考えないといけません  
が、BizTalkがなくてもバッチジョ  
ブの制御をある程度保管できま  
す。(さきのエージェントとも合わ  
せて)

## SSISの利用局面

- 夜間バッチ処理
  - メンテナンスプランも利用できるため、バックアップ、インデックスの再構築なども含められる
- 新旧移行
  - 特にばらけたExcelから抽出等はいちいちプログラムするのは結構大変
- データウェアハウス(DWH)
  - 複雑なテーブル構成から、単純な構成にばらしておく
  - SSAS(AはAnalysis)タスクも可能

SQL Server 2005 Standard Edition, Enterprise Editionの  
だけではあります...

SSISを使いましょう